年間授業計画　様式例

高等学校 令和８年度（１・２学年用） 教科 芸術　　科目 美術Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　D　組　　第２学年 E　組 ～ F 組

教科担当者：（　１年A～D組／２年E～F組：野田）

使用教科書：（ 新・高校生の美術　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】対象や自走を捉える造形的な視点について理解を深めている。創造的な美術の表現をするために必要な技能を身

【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発

【学びに向かう力、人間性等】美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている

科目　美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	A オリエンテーション 教科書P.2～3 「つくりだすチカラ」 「感じ取るアンテナ」	・教科書P.2～3　アーティスト五十嵐靖晃のインタビューを鑑賞し、「そらあみ」について知る ・教科書P.６～７　絵画・彫刻を参照、解説動画を鑑賞する ・ＱＲコードを読み取りインタビューを鑑賞				○					4
	「身近なものを描く」 教科書P.8～11 【知識及び技能】 形や色彩、質感などの効果、全体のイメージを捉え、鉛筆や絵の具などの特性を生かして表す 【思考力、判断力、表現力等】 身近なものの特徴など基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	・鉛筆の削り方 カッターナイフで鉛筆を削る ・ワークシート　グレースケールを制作 ・４Ｂ～２Ｈ鉛筆	○				＜知識・技能＞ 【知識】 形や色彩、質感などの効果を理解し、全体のイメージや作風など捉えている。 【技能】 鉛筆や絵の具などの特性を生かし、表現方法を創意工夫し、主題を追及して創造的に表している。 ＜思考・判断・表現＞ 【発想】 身近な物の特徴や感じ取ったことなどから主題を生成し、形や色彩、質感、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 【鑑賞】 形や色彩のよさや美しさ、面白さなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 ＜主体的に学習に取り組む態度＞ 【態表】 身近な物の特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 【態鑑】 身近な物の特徴や美しさなどを表した作品を鑑賞する創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
		・幾何学形態をデッサンする 立方体、円柱、球体を描く ・鉛筆デッサンの鉛筆の使う順番を知る	○					○	○	○	8
		・モチーフを選択し、よく観察して、形体と色など特徴について考察し、スケッチする。	○					○	○	○	8
2学期	「私の見つけた風景～どこに心惹かれているのだろう」 【知識及び技能】 形や色彩、構図の効果、空間や全体のイメージなどを捉え絵の具などの特性を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な場所の印象などを基に、形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 風景から感じ取ったよさや美しさなどを表す創造活動に、主体的に取り組む	・教科書の作品を鑑賞し、作家がどのような風景に引かれたのか知る ・気になる風景を表すためのアイデアスケッチをする。				○	＜知識・技能＞ 【知識】 風景の中の空間や色彩、光などの効果を理解し、全体のイメージや作風などを捉えている。 【技能】 絵の具などの特性や効果を生かし、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 ＜思考・判断・表現＞ 【発想】 風景を深く観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形や色彩、構図などをについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 【鑑賞】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 ＜主体的に学習に取り組む態度＞ 【態表】 風景から感じ取ったよさや美しさ、不思議さや面白さなど、感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 【態鑑】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい風景の特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。			○	4
		・主題を基に、風景と自分との関係について考えを深めながら、風景の魅力を表すための構図や形、色彩、陰影の描き方を工夫する。 ・水彩絵の具やアクリル絵の具などの描画材料の特性を生かして、空間や色彩、陰影などを効果的に表すための構想を練り、下塗りから中塗り、上塗りへと描き進めている。	○					○	○	○	20
3学期	「季節の魅力を表そう」 【知識及び技能】 構図や色彩、光や影、時間などの効果、全体のイメージを捉え、カメラの特性を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等】 被写体の印象などを基に、見えないものを表すための効果を表し、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 目に見えないものを写真で表す創造活動に、主体的に取り組む。	・教科書掲載の作品などから、見えないものを写すための表現の工夫を読み取る。 ・撮影対象を観察して、形体やいろなどの特徴を捉えて、季節の魅力を表すための構想を練りながら、撮影方法を工夫して撮影する。				○	＜知識・技能＞ 【知識】 構図や色彩、光や影、時間などの効果を理解し、全体のイメージや作風などを捉えている。 【技能】 機器の特性を生かし、表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表している。 ＜思考・判断・表現＞ 【発想】 被写体の印象などから主題を生成し、見えないものを表すための構図、露出、シャッター速度などの効果を考え、創造的な表現の構想を練っている。 【鑑賞】 場面を切り取って写す写真の効果を感じ取り、作者の心情や意図と見えないものを表すための創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	○	○	○	6
		・撮影対象をより深く観察し、表したいイメージを基に主題を生成し、光と陰影の効果、構図の取り方、ピントの合わせ方などの効果を考え、構想を練り、機器の特性を生かして表現方法を工夫して撮影する。 ・季節の魅力を表すために、どのように表現の効果を工夫しているか、また、機器の特性をどのように活用しているかなど、学習活動を振り返り自己評価し、作品を鑑賞しあう。				○		○	○	○	12 合計 70